

hot news  
**今冬の福祉除雪利用者を募集**  
 昨冬は2千650世帯で試行実施

今後の高齢社会を見据えて、市内全域二千六百五十世帯で実施した「福祉除雪」。二年目となる今年度も、昨年度と同様の形で全市的に試行実施します。

福祉除雪は、自力で除雪することが困難な高齢者・障害者世帯を対象に、間口（道路に面した出入り口部分）や敷

地内の除雪を手伝うもの。基本的には、道路除雪が行われた日の午前中に実施します。昨年度の利用世帯へのアンケートでは、「利用して良かった」と「まあまあ良かった」を合わせた回答が90%を超えました。利用者から寄せられたさまざまな声も踏まえ、今年度は敷地内通路の除

雪幅を十センチ広げて八十センチにする。募集の開始時期も二週間早めています。

また、地域での協働を重視し、除雪作業には、町内会や地元企業・団体などから募った地域協力員が当たります。福祉除雪の利用申し込み期間は、九月二日から十月十五日（火）まで。詳細は28ページをご覧ください。

【詳細】区社会福祉協議会（28ページ）か区役所（13ページ）の保健福祉サービス課

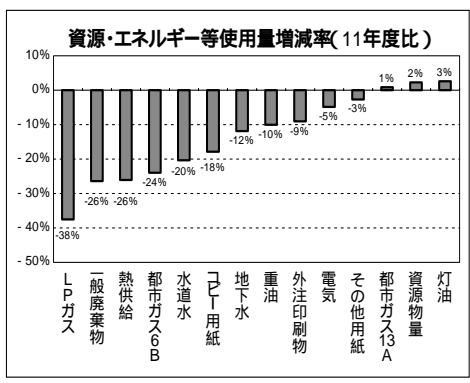
hot news  
**全庁を挙げて環境への配慮を徹底**  
 13年度は約4億6千万円の削減効果が

市では、地球環境を守るため、市内の企業などに省資源・省エネルギーを幅広く呼び掛けています。その一環として、平成十三年度から、市役所自らも「環境マネジメントシステム」を全庁に導入し、環境負荷の低減に率先して取り組んでいます。

「環境マネジメントシステム」とは、具体的な目的・目標と行動計画を定め、その達成状況を定期的に点検、見直していく仕組みのこと。市では、昨年十一月、このシステム

の国際規格「ISO14000」の認証を取得しています。このほど、平成十三年度の取り組み成果がまとまりました。今後、全庁一丸となつて、環境への配慮を徹底していきます。

△十三年度の取り組み成果▽  
 目標の達成率は全庁で84%という好結果となりました。資源・エネルギーなどの使用量（下表）も、ほとんどの項目で削減することができました。これらの削減効果を経費に換算すると約四億六千万円



地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量に置き換えて試算すると四千九百五十三トとなり、市役所本庁舎の年間電気使用量の十一倍に相当する削減効果が得られたことになりました。

【詳細】環境マネジメント担当課（211）2879

hot news  
**「ガラスのピラミッド」愛称募集**

16年度完成を目指すモエレ沼公園



建設中のガラスのピラミッド。来年3月の完成に向け、急ピッチで工事が進められています

世界的な彫刻家、故イサム・ノグチが設計した東区中沼のモエレ沼公園。平成十六年度の全面完成を目指して、着々と造成が進められています。このほど、公園のシンボルとして新たに加わる二つの「作品」の名前を募集します。愛称を募集するのは、ガラスで囲まれたアトリウム（イメージ的な「ガラスのピラミッド」）。高さ三十メートルの開放感あふれる空間では、冬もゆつたりと休憩できます。また、建物内には、レストランや売店のほか、イサム・ノグチの芸術活動を紹介するギャラリーなどが備えられます。

雪を活用した冷房システムを導入することも、この施設の大きな特徴。公園内で集め

た雪を地下倉庫に蓄え、その冷熱をアトリウム内の冷房に役立てていきます。

地図にも載る正式名称を募集するのは、高さ五十メートルを誇る「モエレ山（仮称）」。

完成すると、東区で最も高い山となります。頂上からは市街地が一望できるほか、冬はスキージなどのウィンタースポーツも楽しめます。

ガラスのピラミッドは来年三月、モエレ山は平成十六年度に完成の予定。イサム・ノグチが夢見た「全体を一つの彫刻とみなした公園」に、あなたの「作品」を付け加えることができるかもしれません。募集は10月21日（月）までです。詳細は31ページをご覧ください。

【詳細】造園課（211）2525

建物に設けられた屋根や壁面がガラス張りの中庭のような空間